

北海道道北支部

NEWS 第153号

発行者：齊藤浩平
編集者：川島航平
反田翔磨

小林 浩 先生 『知事感謝状を受賞して』

理学療法の日イベント 活動報告

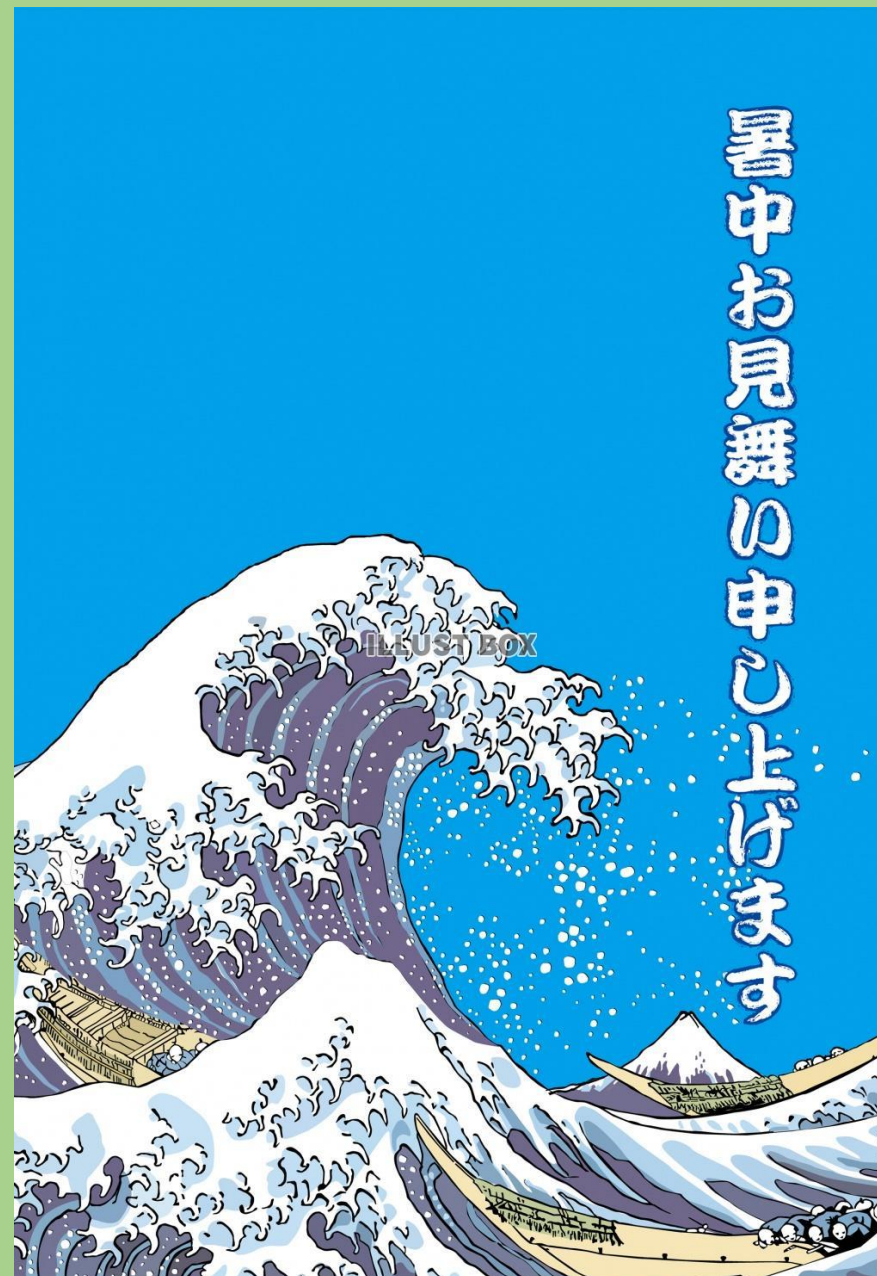
塚田 鉄平先生 パラスポーツの関わり

車椅子テニス 活動報告

第2回広報会議 議事録

編集後記

本日のトピック



小林 浩先生 小林 浩 先生 『知事感謝状を受賞して』

「知事感謝状を受賞して」
社会医療法人元生会

森山病院予防医学センター
小林 浩

この度は道北支部のご推薦により、北海道理学療法士会創立55周年記念において、知事感謝状を賜うことができ、誠にありがとうございました。

北海道には地域医療を拡充する礎になるために戻ってきました。病院部門のリハ職配置の多さとは異なり、退院後の支援や介護予防等の取り組みは依然少ない状況があります。組織をあげて取り組んだ活動でしたが、病院外にも理学療法士として求められる分野があることを知ってもらえたら嬉しい限りです。

今後益々在宅支援体制や介護予防事業の発展が進むことを祈っております。体が動くうちは頑張りますので、宜しくお願いいたします。



児童デイサービス りると旭川末広 野上 優佳

日本理学療法士会では毎年7月17日の理学療法の日により理学療法をPRする様々な活動を行っています。道北支部では令和5年7月9日(日)に忠和公園でトレーニングをしているアスリートクラブ999の皆様を対象にコンディショニングやストレッチ、健康相談を行いました。初めにウォーミングアップとして理学療法士が主体となって、集団での体操を行いました。その後は、各自自主練習の時間になり公園内を内周されている方に並走させていただきました。トレーニング中の動きの中から身体の特徴を観察したり、会話をしている中で現在の状態で気になっていること、今後はどのような大会に参加される予定なのかを確認したりしました。

その後に実際にストレッチや身体ケアの指導を行いました。限られた時間の中で身体的な課題を推測し、相談された内容に対してアプローチをしていくことは大変だと感じました。しかし、実際にケアをさせていただいた方からトレーニングを再開したら体を動かしやすかったと声をかけていただき、スポーツの現場に理学療法士が参加する意義と役割を実感しました。

今回のイベントは屋外で行っていたため地域の方にも声をかけていただくことができました。このような取り組みを行うことで理学療法士の役割を知っていただける機会になるということを感じました。また他施設の方との交流や普段の職場とは違う経験をすることは、自分の成長に繋がりました。



パラスポーツの関わり～地域での実践例

健康スポーツ局 障がい者スポーツ支援部
塚田鉄平

旭川で行われている活動を紹介いたします。旭川では、月1回「チャレンジタイム」という取り組みを行っています。旭川パラスポーツ協議会が主催となり、障がいの有無に関わらず、様々なスポーツを体験し、スポーツを楽しむ、運動するきっかけを作るというイベントです。4月は理学療法士3名がコーディネーターとなり競技は剣道、車椅子フェンシング、タグラグビー、車椅子テニス、テニスを行い、全体の参加者は健常者4名、車椅子使用者1名、知的障がい者1名、視覚障がい者2名（介助者2名）が参加しました。

剣道では、コーディネーターが参加者に丁寧に刀の握り方、振り方などをレクチャーし、素振りが上達してくると「面！」という大きな掛け声と共に面打ちを行いました。新しい運動経験と共に、爽快感を得ることができました。テニスでは視力、視野のレベルに合わせてコート広さ、ボールの硬さなどを変更させ難易度を調整し、ラケットでボールをヒッティングさせる所からネットを挟んでラリーまで展開しゲーム性を楽しんでもらいました。参加者からは『運動するのが楽しい』、「もっと練習したい」、「できると思わなかった』など前向きな感想を頂くことができました。特定のスポーツに興味を持った方に関しては定期的に活動を行っている競技団体を斡旋したりしています。

今年度の障がい者スポーツ支援部は「MEET & CONECT」を目標に活動を広げていきます。理学療法士が障がい者スポーツの情報を持ち、障がいがある方をスポーツに繋げる事ができる事をベースとし、スポーツを社会参加の一つのツールとしての選択肢に活用する事を促したいと思えます。スポーツ現場では地域で専門的に運動指導ができる理学療法士を増やし、地域の指導者と理学療法士が繋がり、障がいに合わせた運動指導を展開できる事を目指します。

具体的には昨年度から継続して釧路で行われる全道障がい者スポーツ大会や各種障がい者スポーツ大会で理学療法ブースを設置します。今まで関わった事がないから不安だと感じる方もいるかもしれませんが、事前講義を行い、当日はコアメンバーの指導を受けながら活動を行える体制を築きますのでお気軽にお申し込みください。また、専門的な指導者の養成として、9月9・10日、12月9・10日の4日間で日本理学療法士協会会員対象の日本パラスポーツ協会公認中級パラスポーツ指導者養成講習会（理学療法士であれば中級から受講可能）を旭川で開催し、講師には、パラリンピックにも関わられているトップランナーの方や地域に根強く関わられている講師をお招きして開催します。詳細は改めてホームページに掲載しますので多くの方の参加をお待ちしております。継続してパラスポーツwebミーティングを行い、実際に地域で関わっている実践例などを情報交換できる場を作りますのでパラスポーツに興味があるという方はぜひこちらのメーリングリストへ登録をよろしくお願いいたします。

<https://forms.gle/cxfduXS7ZVRcd4yk9> 障がいがある方の未来を作るのは君だ！



車椅子テニス体験会

名寄市立総合病院 リハビリテーション科
理学療法士 又村貴大

令和5年6月25日（日）に名寄市風連町B & G海洋センター体育館にて、道北地区障がい者スポーツ協議会所属の小笠原志朗(おがさわらしろう)さん及びN（名寄）スポーツコミッションにご協力のもと、車椅子テニス体験会が行われました。旭川医科大学病院リハビリテーション部理学療法士の塚田鉄平(つかだてっぺい)さんと車椅子テニスチームACT、北海道車いすテニス協会のメンバーが講師を務めました。

当院の理学療法士3名と、その外来リハビリに通われている中学生の児、地域のテニス部愛好者1名と市役所職員1名、大学生1名が参加しました。体験会では、実際に車椅子を操作しながらボールをラケットで打ち返したり試合をおこなったり、楽しく白熱しながら体験することができました。今回は中学生の児の「車椅子テニスをやってみたい」という一言から企画計画が始まりました。当院の力だけでは主催することができず、小笠原さんや塚田さん、ACTの力を借りて主催することができました。今後もこのような地域のコミュニティをさらに広げ、様々な人が活動できるような環境づくりを行っていきます。

以下は今回参加された児の感想です。

「車椅子テニスを体験して最初は緊張していましたが、色んな人達が優しく接してくれて、車椅子のこぎ方のコツなどを教えてくれました。ボール打ちの時も僕が何回も空振りしましたが、ボールの打ち方やボールを打つタイミングを詳しく教えてくれて少しですが打てるようになりました。試合をした時も僕が良い打ち方や空振りをして『ナイスショット』『惜しい』などの声掛けをしてくれてモチベーションが上がりました。試合は全敗してしまいましたが試合で勝てるように、車椅子テニスをやって行きたいと思いました、貴重な体験が出来て良かったです。」

旭川医科大学病院 リハビリテーション部
理学療法士 塚田 鉄平

今回は理学療法士からの情報提供から実現した体験会であったことが、私にとって何よりも収穫でした。そして、情報をいただき私の方で考慮したことは、『体験した活動を地域で継続する環境の構築』でした。パラスポーツを拡げていくためには、マンパワーの集約や道具を含めた環境整備が必要であり、そのために社会福祉協議会の小笠原さんを含め、教育関係や場所などの提供を含めた交渉を行なってもらい、私の方からインクルーシブスポーツの理解のために地域のテニス愛好者にお声掛けさせてもらい、今回の体験会を開催することができました。なんといっても、普段は消極的だと聞いていましたが、児の積極的な姿勢と笑顔にみんな心を踊らせました。情報を繋いでいただき体験にも参加していただいた名寄市立病院の佐野先生、体験会に参加していただいた又村先生、伊藤先生ありがとうございました。

体験会の要請がありましたらありましたら

(dsports.health.hpta@gmail.com) こちらまでご連絡を頂けると幸いです。

活動風景



第2回 令和5年度道北支部役員会議 議事録

開催日時：令和5年6月26日（月） 19：00～20：30

開催場所：WEB(Zoom)

出席者：齊藤浩平、千葉恒、内藤考洋、塚田鉄平、近藤伸英、岩瀧廣大、高木一人、大西正剛、大河原和也、森谷大輔、塚本健太、片野真奈未、嶋寛章、杉澤裕之、蠣崎和史、川島航平

※本会議は、Web会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いに可能な状態を確認した上で開催した。

議題1：支部長報告

I. 第1回理事会の内容を一部抜粋

令和5年5月27日（土）13:30～17:15

- 1) 令和4年度事業報告及び決算報告の承認について
* 学術研修会参加者数減少に関する問題、入会数の問題、公益認定基準について
- 7) 第75回北海道理学療法士学術大会の大会長、準備委員長の承認について
⇒ 日胆支部長より大会長に森田学会員、準備委員長に會津圭崇会員

審議事項

- 1) 新人理学療法士の理学療法士会への入会促進に向けた取り組みについて

II. 総会および第2回理事会の内容を一部抜粋

令和5年6月17日（土）16:30～17:45

- 1) 会長の選出について
青山誠理事が会長に選出された。
- 2) 副会長及び常任理事の選出について
青山会長より副会長に柿澤理事、杉原理事、千葉理事の3名が候補者として推薦された。承認

議題2：事務部報告

I. 公文書について

引き続き、各部で受領した公文書がありましたら事務部までデータを送ってください。

II. 支部ニュース第153号について

- 1) 小林浩会員の創立55周年に係る北海道知事感謝状の受賞についてのコメント及び写真を掲載予定
- 2) 名寄における車椅子テニスの活動の様子について掲載予定
- 3) 他に支部ニュースにて周知したい内容があれば7月中旬までに近藤もしくは川島まで

議題3：学術部報告

I. 2023年度事業予定

- 1) 研修会：
 - ・ 8月2日に研究部門の臨床支援研修会（1回目）を開催予定で現在道士会に申請中。
 - ・ 中枢部門研修会は講師依頼文発送済み。
- 2) 学会、研修会：
 - ・ 第3回道北支部PT学術研修大会
講師決定し、それぞれに講師依頼開始。
主メンバー5名に加え、3名ほどスタッフ追加し8名ほどで運営する予定。
 - ・ 第6回道北支部PT学術大会：12～2月
- 3) 7月に学術会議と第3回学研会議開催予定。

II. 連絡・検討事項

まだ症例検討演者は応募なし。

各施設で実施してくれているならそれでも良いが、道士会事業として予算計上しているの、実施したいと思っているが、今後各施設での実施が増えて支部発表が減ってしまうのであれば予算組しないことも検討する必要があるのかもしれない。

だが、院外で発表する事の重要性はあるので、施設管理者・上位者の考え方も大事だと思う。できればまずは「院外で発表」が第一選択になってほしい。所属施設で「登録PT」を義務化していないのであれば参加者は増える見込みはない。

議題4：社会部報告

I. 活動報告

- 1) あさひかわ健康まつり第1回役員会会議→欠席
日時：2023/6/8場所：旭川市第二庁舎
内容：9/30（土）に健康まつり開催方針.会場は大雪アリーナ
健康まつりのテーマ決め、会場レイアウトについて
- 2) 道北支部健康安全運転講座in士別（事前会議:5/17）
日時：2023/6/8場所：士別いきいき健康センター
人員：2名派遣参加者：11名
- 3) 道北支部健康安全運転講座in旭川
（事前会議:5/18、5/30。5/18→ダイハツ・JAF側との会議。5/30PTスタッフ間での会議）
日時：2023/6/15場所：北北海道ダイハツ北彩都店（13時~15時30分）
人員：6名派遣参加者：18名

II. 今後の予定

- 1) 社会部・健康スポーツ部合同会議
日時：2023/6/27場所：Zoom
- 2) あさひかわ健康まつり第2回役員会議
日時：2023/7/21or/27場所：旭川市第二庁舎
- 3) 道北支部健康安全運転講座in旭川・in士別
旭川→9/14士別→9/21
- 4) 道北支部社会部研修会
日時：2023/9/6（水18時30分~20時）
場所：旭川赤十字病院講堂（対面式）
講師：鈴木聡子（栗山赤十字病院災害リハビリテーション支援部部長）
→以降、案内文作成へ（道北支部に関わる災害や、準備について）

議題5：健康スポーツ部報告

I. 健康スポーツ部の活動報告

- 1) 第62回春季北海道高等学校野球大会旭川支部予選
日時：令和5年5月8日(月)-12日(金) 予選大会
令和5年5月14日(日)-15日(月) 決勝大会
場所：旭川スタルヒン球場
内容：1日2名の理学療法士を派遣し、投手のアイシングと希望者に対するテーピングを実施
備考：名寄支部予選には昨年同様派遣依頼はなかった(主催者側の予算がないとのこと)
- 2) 旭川市スポーツ推進委員会委嘱式、定例会
日時：令和5年6月8日(木) 18:30~19:30
場所：旭川市市民文化会館
内容：旭川医科大学病院の塚田鉄平会員、旭川リハビリテーション病院の小野香織会員、岩瀧の3名が令和5年6月1日~令和7年5月31日までの任期で委嘱を受けた

II. 今後の健康スポーツ部の事業予定

- 1) 社会部・健康スポーツ部合同会議
日時：令和5年6月27日(火) 19:00-20:30
場所：Zoom(道北支部アカウント使用)
内容：今後の活動について検討
- 2) 理学療法の日イベント(第1回健康増進事業)
日時：令和5年7月9日(日) 9:00-12:00
場所：忠和公園(雨天時は忠和公園体育館)
内容：定員10名で理学療法士を募集しており、健康相談、コンディショニングを実施(本日時点で7名の申し込みあり)
備考：MicrosoftのFormsを使用して申し込みができるようにした
事前会議は7月5日(水)19:00-20:30にZoomで開催する予定
- 3) 夏季高校野球サポート：詳細未定

議題6：職能部報告

I. 活動報告

1) 第1回職能局管理者育成推進部会議

日時：5月19日（金）19:00

内容：・施設管理者ネットワークの登録推進引き続き各支部で働きかけを行う
・協会指定管理者研修会（初級）の開催9月頃開催（年1回）
・施設管理者ネットワーク活用事業病気別、地域別の情報交換会の開催

2) 第1回職能局装具相談窓口推進WG会議

日時：5月25日（木）19:00

内容：・装具相談窓口設立事業の進捗状況日本本義肢装具士協会と包括連携協定、実施要項作成

- ・各支部の基幹病院道北支部は旭川医科大学病院
- ・実施要項の共有2023年10月頃実働開始、基幹病院と支部職能部連携

3) 施設管理者ネットワークの登録状況（R5.6.1時点）

・支部メーリングリストにて「登録施設リスト」の配信、道北支部ニュースでの周知し、登録施設大幅

アップ。目標の50%達成

・今後も定期的に上記方法にて周知を続ける

II. 第1回職能部研修会

開催日：9月21日（木）18：30～20：00

テーマ：お金の不安を解消する理学療法士のための資産形成の基礎知識

形式：オンライン形式

講師：細川智也氏（ソニー生命、ファイナンシャルプランナー、理学療法士）

参加費：無料

議題7：地区幹事報告

1) 上川中部地区

1.上川中部地域リハビリテーション推進会議：作業部会6/23

2.上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会：今後対面での開催予定

2) 上川北部地区

1. ダイハツ工業との「健康安全運転講座」士別市（6/8実施11名参加・9月予定）

2. 高野連メディカルサポート（春季・夏季予定→支援なし）

3. 上川北部地区POS勉強会：相談中

4. HARP：未定

5. 上川保健福祉医療圏地域連携推進会議 生活習慣病部会：未定

3) 宗谷地区

1. 道北支部研修会（予定）

4) 留萌地区

1. 現在、予定なし

5) 富良野地区

1. HARP活動：地域ケア会議1回・ふれあいサロンでの運動指導3回・老人クラブでの運動指導1回・介護従事者への指導活動1回

2. 多施設間での症例報告：各施設のセラピスト名簿完成

合計83名（PT：46名/OT：27名/ST：10名）のセラピストが勤務

今後は症例検討会の運営方法を検討し、実施したい

議題8：会計部報告

・会計報告は必ず2023年度版で報告してください。

・第6回道北学会会計処理は、城会計部員が担当します。

以上。

編集後記

お久しぶりでございます！旭川赤十字病院 理学療法士の川島と大西病院の反田です。最近、急な豪雨や30度越えの真夏日になるなど、天気の変化が大きい日が続いております。急な気温変化による体調不良には十分お気をつけ下さい。



追記



本日はみなさま方にとある漫画をご紹介します。名前は『境界のエンドフィール』

今まで医者や看護師を題材にした漫画は知っていましたが、理学療法士を題材とした漫画があるのを知りませんでした！

あらすじ

「アララギの子事件」を追っていた刑事の瀬戸真人。犯人を追跡している途中に瀬戸は取り返しの付かない大きな過ちを犯してしまう。その償いのため刑事を退職し、理学療法士として働き始めた。リハビリテーション科を軸に描かれる心と身体の“真”の再生ストーリー

(Google Booksより一部抜粋)

結論！まずは読んでみてください！！